

インフルエンザ・感染性胃腸炎に注意してください！

いつものシーズンより早く、仲町小にもインフルエンザが発生しました。また、お腹が痛くなったり、気持ちが悪くなる人が増えてきています。

校医の能登先生から、「インフルエンザやノロウイルスなどが原因の感染性胃腸炎は感染力が非常に強く、あっという間に大流行してしまう心配があります。流行を食い止めるために体調が悪い子は、無理して登校しないように注意してください。」と、ご指導いただいています。

寒い日も多くなり、熱を出したり、咳をしている人も増えてきました。特に5年生は移動教室の直前です。健康には十分注意して元気に過ごすようにください。



☆手洗いは、遊んだ後・トイレに行った後・食事の前にはせっけんをつかってしっかり行いましょう。

☆ハンカチを身につけていない人が大変多いのが気になります。毎日きれいなハンカチを持ち歩くようにしましょう。またハンカチの貸し借りは絶対しないようにしましょう。

☆朝、体調が悪い時は、熱がなくても無理をして登校しないようにしてください。

☆かぜをひいたり、お腹の調子の悪い人は、担任の先生に申し出て、給食当番をしないようにしてください。

☆休み時間や、給食の配膳の前には、教室の空気を入れ替えましょう。

—お家の方へ—

★学校で体調が悪くなった場合、保健室に長く休ませておくことができません。学校から連絡があったら、お迎えに来ていただくようご協力をお願いいたします。特に嘔吐や高熱の場合は、他の子への感染予防の点からもすみやかにお迎えに来ていただくようお願いいたします。(特に嘔吐の場合は、学校では感染性胃腸炎の可能性を考えて、感染予防のための消毒や教育委員会への報告を行うことになっています。)

★緊急連絡先の変更は必ず学校にご連絡ください。

★朝の様子心配な場合は、大事をとってお家で様子をみていただくようお願いいたします。欠席させるほどではない場合は、連絡帳で体調を担任にお知らせください。

★欠席の場合は詳しい症状もお知らせください。

★「咳エチケット」も大切です。体調が悪い時はマスクを着用させてください。

